

① 健康づくりの推進について

健康で住み慣れた地域で生活することは住民の願いであり、誰もが健康であり続けたいと思っています。本町は令和6年度長崎県版健康寿命の評価指標で県内最高得点を獲得し、ヘルシータウン賞を2年連続受賞し、また健康ポイント事業と、体験型健康づくりの取り組みを評価され、ヘルシーアワード継続部門も併せて受賞しました。これは町の取り組みだけではなく、住民の健康意識の高さと健康づくりの実践が反映したものだと思います。今の自分の身体の状態を知るためには、特定健診やがん検診などを積極的に受診してもらい、健康寿命を延ばす事こそ町の重要な課題であると思います。そこで本町の現状と課題についてお伺いします。

- (1) 特定健診受診率の現状と推移について
- (2) がん検診の受診率の現状と推移について
- (3) 健康づくりに関わる町のイベントの現状について
- (4) 健康ポイント事業の改訂された内容と住民の参加状況について
- (5) 口腔ケアの町の取り組みについて
- (6) 健康寿命の近年の推移について

② プラスチックごみの処理方法について

本町は容器包装プラスチック（商品の容器、商品を包装しているもの、中身を消費・分離したときに不要になるもの）をリサイクルを目的として、容器包装以外のプラスチック製品（それ自体が製品や道具で、繰り返し使うもの）は燃やせるごみとして収集、処理しています。平成7年に容器包装リサイクル法が制定され今日に至っていると思いますが、先日長崎市は、来年令和8年4月からプラスチックごみの出し方を変更すると報道がありました。燃やせるごみとして回収しているハンガーなどのプラスチック製品を、プラスチックごみとして一括回収する方針を市の清掃審議会に示したとのこと。大阪市や東京都でプラスチックごみとして収集されていることも、先日知りましたが、燃やせるごみの減量化、再資源化は有効な取り組みであると思います。そこで本町の考え方、方向性についてお伺いします。